

地域の特色を生かした教育活動を展開し、ふるさとへの愛着や誇りを育むことで、地域とともにある学校を目指します。

〈教育目標〉 **豊かな心で たくましく 伸びる子ども**

周囲の人たちや社会と積極的に関わる場を設け、子どもの自己有用感を育むことで、教育目標や学校像の具現化を図っていきます。

**【すべてのひととのかかわりを大切に】**

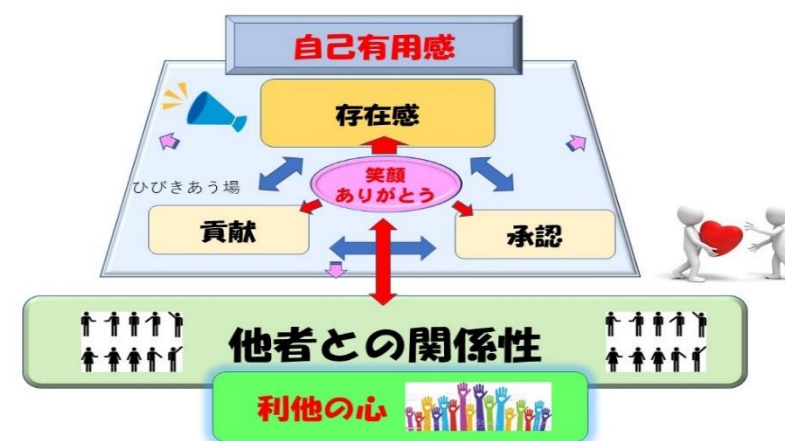
職員

連携

読解力向上を目指し、磨き、磨き合う職員研修  
互いを認め、笑い合える職員集団

幼保小中との目標共有と行動連携  
コミュニティ・スクールの推進

	「学びをきたえる」プロジェクト	「心をたがやす」プロジェクト	「健康をつくる」プロジェクト
重点目標	◆確かに学ぶ子ども	◆なかよくする子ども	◆元気な子ども
成果を測る指標	(1) 国・算のワークテストで、80点以上の児童を85%以上にします。 (2) 家庭学習に、各学年の目標時間以上取り組んだ児童を80%以上にします。 (3) 「文をよく読んで、書かれていることについてよく考えた」と評価する児童の割合を80%以上にします。	(1) 学校が楽しいと感じる児童の割合を80%以上にします。 (2) みんなの気持ちを考えた言葉遣いや行動のできる児童の割合を90%以上にします。 (3) 廊下歩行など安心して過ごすためのきまりを守ることでできる児童の割合を90%以上にします。	(1) 運動が好きという児童、めあてをもって運動に取り組む児童をそれぞれ85%以上にします。 (2) 秋の体力テストのときの長座体前屈の記録が、春のときよりも伸びる児童を60%以上にします。 (3) 家族と決めた就寝時刻を守る児童（7日中5日以上）を70%以上にします。
人と人との良好な関係を築くために	○他者とのかかわり合いの場を積極的に設け、他者との関係性を深めます。 ○他者からの自分への評価をもとに、自己有用感を高めます。 ○他者や集団に貢献し、承認されることで、他者や集団における存在感を高めていくようにします。それが自己有用感にもつながります。 ○【利他の心（人によかれという心）】を大切にし、よりよい人間関係を構築できるようにします。 → 【燕北小いじめ防止基本方針】		



主な学校行事

4月	始業式・入学式・NRT 学力検査・避難訓練 1年生を迎える会・学習参観	10月	全校登山・文化祭
5月	交通安全教室・運動会	11月	マラソン記録会・北っ子まつり・個別懇談会
6月	体力テスト・修学旅行(6年)・演劇鑑賞会 避難訓練・水泳授業・土曜参観日	12月	個別懇談会・終業式
7月	終業式・個別懇談会	1月	3学期開始・校内書き初め会・長縄集会 避難訓練
8月	2学期開始	2月	児童会引継式・学習参観日 学期末懇談会
9月	学習参観日・郡市親善陸上大会(6年) 移動教室(5年)	3月	6年生を送る会・修了式・卒業式

児童数

学年	男子	女子	合計
1年	11	3	14
2年	15	9	24
3年	4	8	12
4年	13	10	23
5年	10	15	25
6年	14	5	19
合計	67	50	117

教職員

役職	氏名	担当	氏名
校長	小川 泰文	サポートルーム1	日馬 和雄
教頭	川崎 英樹	サポートルーム2	平井真由美
教務主任	燕 敏也	養護教諭	山田 知佳
1年担任	星 容子	事務主事	岩崎 史歩
2年担任	山口 哲史	管理員	南波 功一
3年担任	片野 由弥	学習支援員	宮本 均
4年担任	後藤有紀子	介助員	古谷 邦子
5年担任	柴崎 裕子	介助員	児玉 友美
6年担任	吉原 章弘	地域コーディネーター	鷲澤・霜鳥